



障がいのある人の雇用に取り組む

# 京都かんきょう株式会社

(京都市右京区)

「京都はあとふる企業」です

【主な事業内容】 貨物自動車運送事業(京都市のゴミ収集および分別業務)

【障がいのある人の主な仕事】 リサイクルの為の分別作業

## 【障がい者雇用の経緯】

障がいのある人の仕事場は、京都市北部資源リサイクルセンターです。京都市の外郭団体が請け負っていたリサイクルセンターでの分別作業を、平成25年の民営化の際に当社が受託しました。平成18年から障がい者雇用が開始されており、それを引き継ぐ形で雇用を拡大してきました。京都市立の特別支援学校生の見学・実習を在学中から受け入れると共に、ハローワークにも求人を出してきました。現在、21人の障がいのある人が働いています。



## 【分け隔て無い受入れをめざして】

特別支援学校生の実習は、2年生時の体験実習(2週間)と3年生時の採用実習(4週間)があり、体験実習だけでも年間10数人受け入れています。

現場には職業生活相談員5名を配置し、ひとり一人が力を発揮できるように、家族や学校と連携し、相談体制を整えると共に、作業支援や安全面の配慮など総合的な支援を行っています。実習生の時から相談員が付き、丁寧な説明と指導を行い、就労してもらいます。

また、作業は一般社員と育成社員(知的障がいのある社員)がペアとなり、互いに助け合いながら行います。手取り足取りではなく、「自分でする」ことを基本にした援助を行っています。勤続10年以上の人も多く、実習生や後輩に教えることもよくあります。

楽しく働くことを基本に、交流会(食事会やバーベキューなど)や親会社の見学会なども行っています。

## 【Yさんに聞きました】

9年目になります。他の実習では緊張して話すことも出来なかったが、ここでは話すことができました。覚えることが多く、少し不安でしたが、周りの人に教えてもらい出来るが増えました。今は、統括班長をしており、実習生や後輩に教えることもあります。休みはライブに行きます。部屋の掃除や家事も手伝います。

## 【Fさんに聞きました】

2年目になります。体力には自信があり、分別の仕方も具体的で分かり易く、自分に合っていると思いました。学校では先生に甘えられるけど、初めて「社会人として」と言われ緊張した。話すことが苦手だけど、実習生や後輩と話すようにしています。家では簡単な料理をします。車の免許を取り出かかけたいです。

